

## 箱わなによるイノシシの捕獲方法

イノシシによる被害を減らすには、加害個体の捕獲も有効です。そこで、今月はイノシシの捕獲方法を紹介します。捕獲するには、まず狩猟免許を取得します。銃猟免許とわな猟免許があります。また、わなには箱わな・囲いわなと脚くりわながあります。このうち、箱わなは、経験が少なくても捕獲が可能な方法です。

田畑を加害したイノシシは、被害地の概ね 500m 以内にいます。ただし、田畑のすぐ近くに箱わなを置くと、餌に誘引されたイノシシが捕獲される前に農作物を加害する恐れがあります。そのため、箱わなは田畑から少し離れた場所に設置します。イノシシ道や堀荒らしなどの痕跡のある平坦な耕作放棄地などが適地です。つぎに、圧ペントウモロコシなどの誘引餌を獣道から箱わなまで少しずつ点々と撒きます。そして、食べ跡や足跡を確認しながら、次第に箱わなの中へと誘導します。最初に箱わなに入るのは警戒心の少ない子です。この時点で扉が落ちると子だけが捕れて、親は危険を学習して捕れなくなります。そのため、箱わなの中に親の大きな足跡も入ったのを確認してから扉を落とします。

中山間地域研究センターでは、ホームセンターで手に入る資材を使って作成できる安価（材料費約 1 万 8 千円）で軽量（約 50kg）な簡易型箱わなの作成方法をホームページで紹介しています。（島根県中山間地域研究センター 鳥獣対策科 金森弘樹）



簡易型箱わな